

教育研究活動報告書

ふりがな 氏名	たなか まり 田中 麻里	所属・職名	子ども学部 子ども学科・准教授
専門領域	障害児教育	学位称号	教育学修士. 1991(平3)
最終学歴	1991(平3) 上越教育大学大学院学校教育研究科障害児教育専攻(修士課程)修了		
資格・免許等	(教員免許) 1988(昭63) 高等学校教諭二種普通免許(社会)取得 昭62 高2 普第31号 1991(平3) 中学校教諭専修免許(社会)取得 平2 中専第121号 1991(平3) 養護学校教諭専修免許取得 平2 養専第101号		
教育上の能力に関する事項			
担当科目	障害児保育、社会的養護、家族援助論、保育内容指導法(人間関係)、子ども学総論、基礎演習あすなろう、子ども学演習		
教育方法の実践例	1. 教育方法の実践例 (1) 教養科目「あすなろう」における附属三光幼稚園、三光保育園の保育者と学生、短大教員との学びの共有を企画：平成15年4月～平成20年3月 佐賀短期大学附属三光幼稚園で実践しているモンテッソリ教育について、幼稚園と保育園の保育者、実習を直前に控えた学生、短大教員が共に学ぶ時間を設定した。モンテッソリ教育の理論はもとより、幼稚園で実践中のモンテッソリ教育について、先輩保育者の実践を通して具体的な講話を聞き、学生たちの現場実習にむけた意識の向上に繋がり、また短大教員の附属幼稚園での教育内容や実践法の再確認の場となり、附属園との連携の際に役立った。当該科目における企画、立案、連絡調整等を担当した。 (2) 子育て支援事業「親子いきいき広場」への学生による参画の実施ー「児童福祉援助技術」「家族援助技術」の授業を通してー：平成16年4月～平成20年3月 佐賀短期大学内で行っている子育て支援事業「親子いきいき広場」に、授業を通して学生が参画し、参加親子と半年から1年間の継続的なふれあいを体験する。学生は、遊びの提供や環境設定などの活動を通して、親子が抱える現状や子どもの発達状況を把握し、必要とされる支援内容を実感できた。その上で、「子育て支援」とは何かを検討していくことで、保育者としての資質、技能を高めることに繋がった。当該活動において、学生指導、子育て支援事業の企画、立案、実践を行った。 (3) 専門科目「こどもと自然」の企画と実施：平成18年4月～平成20年3月 佐賀県内の三短大(佐賀、九州龍谷、佐賀女子短期大学)において、共通の専門科目「こどもと自然」を設置し、保育者を目指す学生に「幼児期からの環境教育」を実践するための体験学習を行った。学生は、自然体験活動や食農教育、いのちの教育などを通して保育者としての実践活動を習得した。実際に体験することで保育者としてのスキルアップにつながり、実践力の向上と、他短大との交流が深まり、人間関係の構築方法なども学ぶことができた。当該科目の企画、立案、授業の実施、全体統括を担当した。		
教材の開発			
教育改善活動等	(4) 教養科目「こどもと環境」の企画と実施：平成18年10月～平成20年3月 佐賀県内の三短大(佐賀、九州龍谷、佐賀女子短期大学)において、共通の教養科目「こどもと環境」を設置し、保育者を目指す学生のほか、将来こどもと関わる際に役立つ環境教育について学ぶための授業を実施した。学生は、宇宙規模での環境問題や保全、身近な佐賀の環境等を理解し、明日の地球環境を守る担い手であるこどもたちに環境教育を行うための具体的方法を学んだ。また、身近な環境や環境問題を理解することができ、環境保全を幼児期から伝えることの重要性と方法について学ぶことができた。当該科目の企画、立案、授業の実施、全体統括を担当した。 (5) 教養科目「共に学ぶあすなろう(保育)」の企画と実施：平成19年4月～平成20年3月 本科目は、保育者を目指す1、2年生が学校生活を通して時間と場所を共有することが少ない現状を踏まえ、同じ目標を持つ異学年が自身の体験をもとに情報交換を行いながら新たな体験を共に重ねていくことで学習意欲と目標達成にむけた意欲の向上を目指している。保育者のスキルアップ講座、先輩保育者の講話や2年生主導の就職模擬面接の実施、新入生宿泊体験、学内の花壇美化活動等を行った。学生達は、人間関係が広がり、豊かな思考力と協調性を身につけることができた。当該科目の企画、立案、授業の実施、全体統括を担当し		

た。

(6) 教養科目「基礎演習あすなろう」の企画と実施：平成21年4月～現在

本科目は、大学生活のスタート時点における学習生活支援を目的として、学生が本学の教育理念を理解し、少人数による主体的学習態度の育成と専門的知識や技術を獲得するための基本的学習スキルの習得をめざすものである。当該科目の企画、立案、授業の実施、全体統括を担当している。

2. 教材の開発等

(7) テキスト作成「第2版 障害をもつ子どもの保育実践」：平成19年4月

障害をもつ子どもの保育内容について理解するためのテキストで、保育者を目指す学生が障害の種類や原因、症状など基礎的知識を理解し、保育者として子どもと保護者対応する際の配慮点等を記載している。

(8) テキスト作成「障害のある子どもの保育実践」：平成22年3月

保育者を目指す学生にとって必要な学習内容である子どもの発達と障害の理解とその基本的視点をまとめ、障害特性や支援の際の留意点を記載している。さらに、障害児のいる保育現場の事例紹介や保育指導計画の作成方法など保育実践に対応できる内容および障害のある子どもの保護者や家族への対応の際の配慮点等も記載している。

(9) テキスト作成「養護原理」：平成22年6月

児童の社会的養護の変遷、家庭や地域における子育ての実際や課題などを紹介し、あわせて施設養護の基本原則および施設養護の体系や種類などをまとめた。保育者や幼稚園教諭等をめざす学生を対象にした児童養護の理論と実践をおりませたテキストである。

(10) テキスト作成「子ども学のすすめ」：平成24年2月28日

子どもと子育てについて、人類学、教育学、生化学、生物学、環境学、作業療法学、福祉学の多様な視点からその歴史や現状、課題などを著した書である。子どもと関わる保育・教育者を目指す学生にとって、有用なものとして、西九州大学子ども学研究会で作成した。第10章子どもの生活経験と子育て支援「育児の孤立化と子育て支援」を担当した。

(11) 佐賀短期大学幼児教育学科保育指導計画案集(第2集)の作成：平成18年4月

教育実習で実施した研究保育を冊子にまとめることで、学生自身の実習の省察とさまざまな計画案の習得につながった。

(12) 県内前短大連携による幼児期からの環境教育—地域の特色を活かした環境学習に貢献する人材育成プログラム—平成18年度成果報告集の作成：平成19年3月

佐賀県内の三短大(佐賀、九州龍谷、佐賀女子短期大学)において実施した、共通の専門科目「こどもと環境」、「こどもと自然」、「ワークショップ」等の活動報告を行った。

(13) 県内全短大連携による幼児期からの環境教育—地域の特色を活かした環境学習に貢献する人材育成プログラム—平成19年度成果報告集の作成：平成20年3月

佐賀県内の三短大(佐賀、九州龍谷、佐賀女子短期大学)において実施した、共通の専門科目「こどもと環境」、「こどもと自然」、「ワークショップ」等の活動成果報告を行った。

(14) 県内全短大連携による幼児期からの環境教育—地域の特色を活かした環境学習に貢献する人材育成プログラム—平成20年度成果報告集の作成：平成21年3月

佐賀県内の三短大(佐賀、九州龍谷、佐賀女子短期大学)において実施した、共通の専門科目「こどもと環境」、「こどもと自然」、「ワークショップ」等の活動成果報告を行った。

職務上の実績に関する事項

なし

研究業績等に関する事項

《平成19年度～平成23年度》

著書・学術論文等の名称	単著・共著の別	発行所・発表雑誌等 又は発表学会等の名称	発行又は 発表の年月
<p>(著書)</p> <ol style="list-style-type: none"> 第2版 障害をもつ子どもの保育実践 障害のある子どもの保育実践 養護原理 子ども学のすすめ 養護内容 (2012(平24).4 出版予定) 保育相談支援 (2012(平24).9 出版予定) <p>(学術論文)</p> <ol style="list-style-type: none"> 幼児保育学科理論系「卒業演習」の学習指導における諸問題；担当教員によるファカルディ・ディベロプメントの取り組み 保育者養成教育に関する一考察—理論的な卒業研究指導を中心として— 保育者目指す学生と子育て支援—「親子いきいき広場」の教育効果— 保育者を目指す学生と子育て支援 (2) —新校舎を利用した実践報告— 地域と連携した実践的学習に関する報告—平成21年度「第1回子どもフェスタ」における子ども学科1年次生の体験活動より— 日本における子育て支援施策の変遷—「エンゼルプラン」から「子ども・子育てビジョン」まで— 	<p>共著 共著 共著 共著 共著 共著</p> <p>共著 共著 共著 共著 共著 単著</p>	<p>学文社 学文社 ナカニシヤ出版 佐賀新聞社 ナカニシヤ出版 光生館</p> <p>永原学園佐賀短期大学紀要 第38号</p> <p>永原学園佐賀短期大学紀要 第38号</p> <p>永原学園佐賀短期大学紀要 第38号</p> <p>永原学園西九州大学短期大学部紀要 第40号</p> <p>西九州大学子ども学部紀要 第1号</p> <p>西九州大学子ども学部紀要 第2号</p>	<p>2007(平19).3 2010(平22).3 2010(平22).6 2012(平24).2</p> <p>2008(平20).3 2008(平20).3 2008(平20).3 2010(平22).3 2010(平22).3 2011(平23).3</p>
研究助成等	<ol style="list-style-type: none"> 文部科学省平成18年度現代的教育ニーズ取組支援プログラム「県内全短大における幼児期からの環境教育」採択 2006～2008 私立大学等経常経費補助金特別補助（教育・学習方法等改善支援）認定こども園における地域子育て支援を通じた学生教育 2007～2009 私立大学等経常経費補助金特別補助（教育・学習方法等改善支援）教養科目「共に学ぶあすなろう（保育）」における学生の体験学習プログラムの実施 2008 全国保育士養成協議会九州ブロック協議会研究助成 九州管内養成校における保育実習の実際—組織的かつ協働的な保育実習指導の可能性を探る—保育所実習統一評価票試案の作成に向けて 2009～2010 西九州大学健康福祉研究センター健康福祉研究「教員・保育士養成における保幼小連携力量の形成に関する研究—地域と連携した実践的学習システムの確立を中心として—」 2009 西九州大学健康福祉研究センター健康福祉研究「実践の知としての子ども学の構築—21世紀社会の子どもと子育てについての総合的研究」（研究代表者香川せつ子） 2009～2011 		
学会及び社会における活動等			
<p>(学会における活動)</p> <p>日本社会福祉学会会員 (1991(平3)年4月～現在)</p> <p>日本特殊教育学会会員 (1991(平3)年4月～現在)</p> <p>日本保育学会会員 (2003(平15)年4月～現在)</p> <p>日本リハビリテーション心理学会会員 (2000(平12)年4月～現在)</p> <p>(社会における活動)</p> <p>佐賀県公私立高等学校連絡協議会委員 (2006(平18)年4月～現在)</p> <p>家事調停委員 (佐賀家庭裁判所所属) (2009(平21)年4月～現在)</p>			